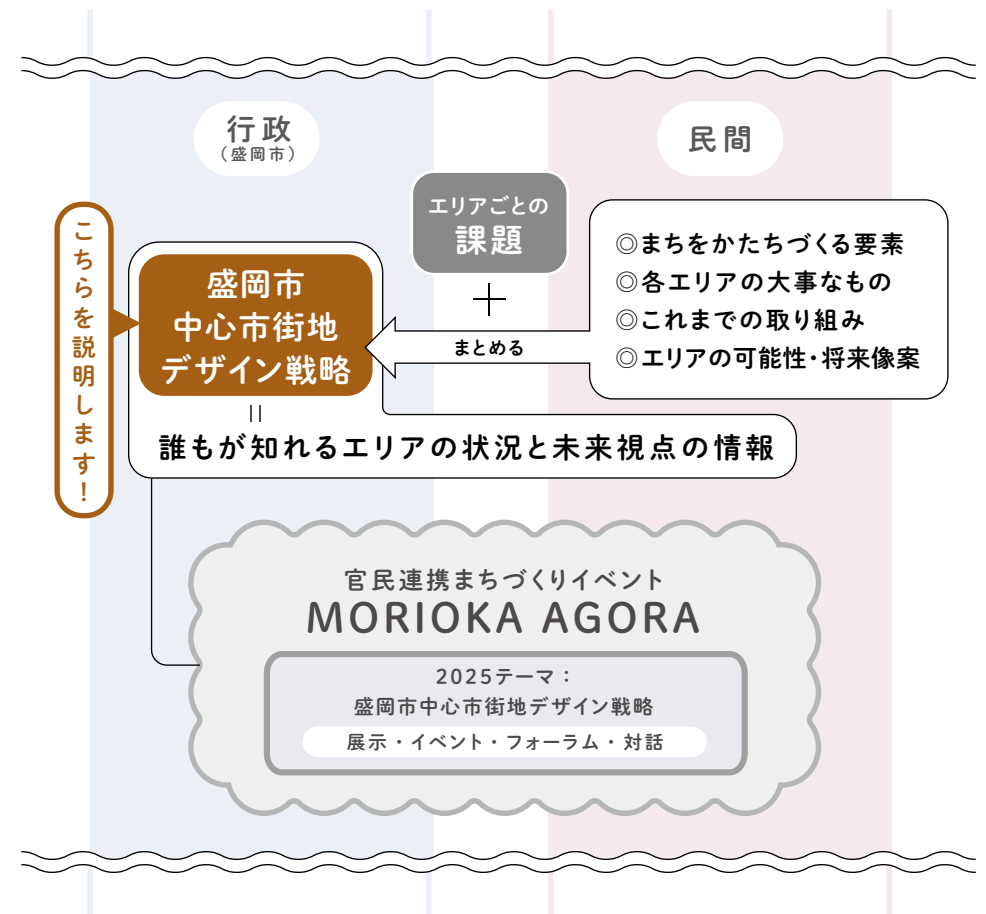


Ⅱ

中心市街地 デザイン戦略 について

まちづくりは昔から続いてきました



まちづくりは未来に続いていきます

なぜ今「中心市街地デザイン戦略」が求められるのか

「盛岡市中心市街地デザイン戦略」とは

「盛岡市中心市街地デザイン戦略」とは、盛岡のまちづくりを担っているみなさん、盛岡の行政や企業ではたらくみなさん、さらには多くの市民のみなさんと、盛岡の中心市街地の理想的な姿を話し合っ、目に見えるビジョンとして描き（デザイン）、それを実現していくための方法（戦略）とともに示すものです。

盛岡の中心市街地は、盛岡市の行政・経済・商業の中心地である一方、岩手山をはじめとする山々に囲まれ、北上川、中津川などまちなかの水辺の風景に恵まれ、城下町から続く歴史的な街並みや文化豊かな多様なエリアが広がる、日本を代表する魅力的なまちです。このまちは、これまで盛岡のまちづくりに「色々なかたち」で携わってきた多くの先人たちによってつくられてきました。そう考えると、まちづくりというのは、つねに未来に向けたバトンだということに気づかされます。では、今を生きる私たちは、未来にどんな盛岡を残していけるでしょうか？



デザイン戦略で対象とするのは大きく分けて「盛岡駅周辺」「大通・菜園」「内丸」「河南」の4つの区域（エリア）です。エリアの中でも、まちの形質や民間の組織やその取組によってさらに細分化される状況にあることから、下記の16地区に細分化して、検討を進めます。

盛岡駅周辺

駅前通り、北上川、材木町

大通・菜園

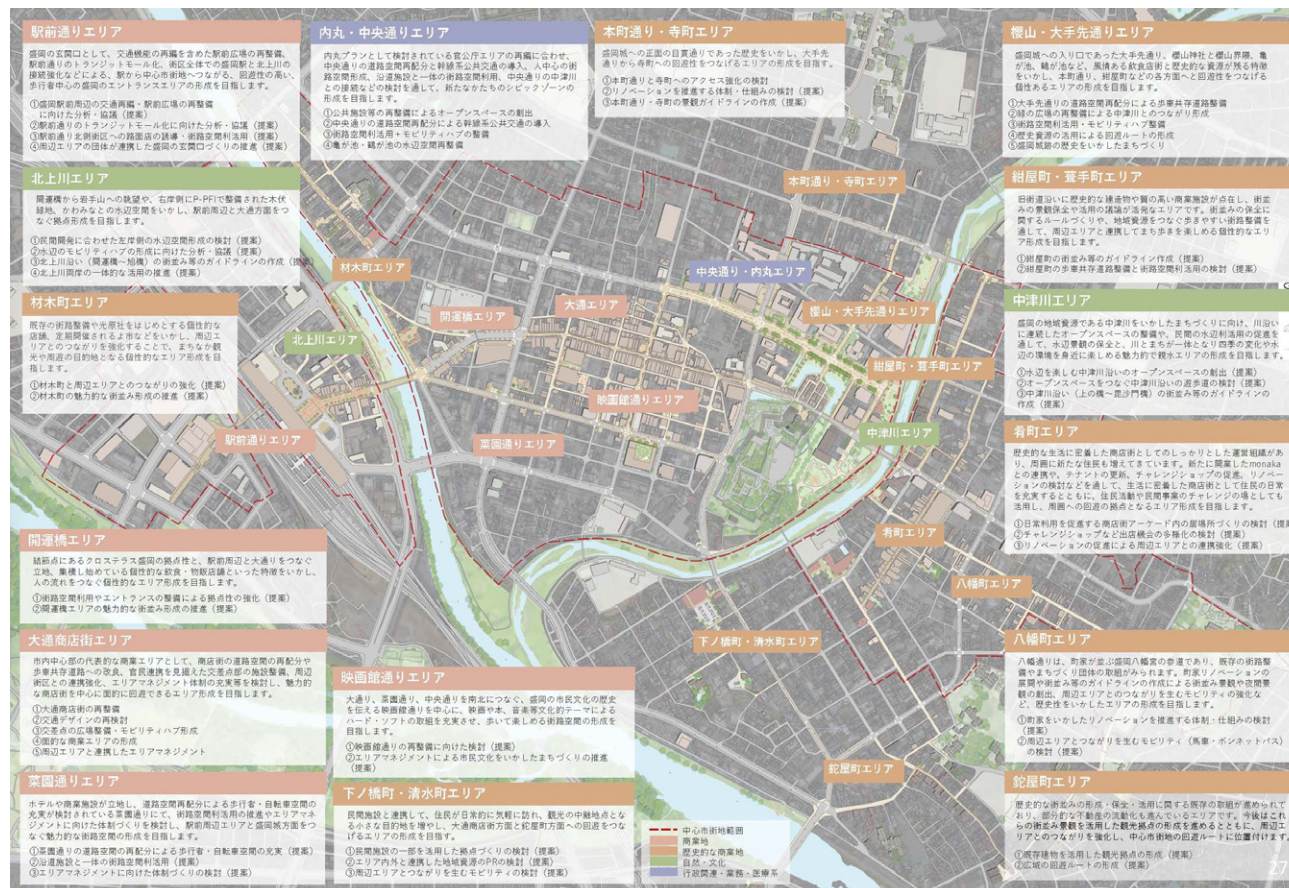
開運橋、大通商店街、菜園通り、映画館通り

内丸

内丸・中央通り、櫻山・大手先通り

河南

紺屋町・葺手町、中津川、肴町、八幡通り



中心市街地に隣接し、文化や伝統を育むような民間の取組が活発であるエリアや、中心市街地との連携が考えられるエリアとして、本町通り・寺町、鉦屋町、下ノ橋町・清水町も対象としています。



（仮称）盛岡市 中心市街地 デザイン戦略（素案）

令和7年7月 盛岡市

※まちづくりに関わる地域の方々へのヒアリングや市の各種個別計画をもとに現時点での調整案をまとめたものであり、今後、地域や関係機関等との意見交換を通して内容は変更の可能性があります。



目次（案）

1. 盛岡市中心市街地デザイン戦略とは

- (1) 問題意識－なぜ今「中心市街地」に「デザイン戦略」が必要か？
- (2) デザイン戦略とは？
- (3) 中心市街地デザイン戦略の位置付け
- (4) 中心市街地デザイン戦略の対象区域
- (5) 中心市街地デザイン戦略の役割
- (6) 中心市街地デザイン戦略の構成と策定の流れ

2. 盛岡市中心市街地の特徴と課題

- (1) 盛岡市中心市街地全体の特徴と課題
- (2) エリアごとの特徴と課題
 - ～駅前通りエリア～
 - ～北上川エリア～
 - ～材木町エリア～
 - ～開運橋エリア～
 - ～大通商店街エリア～
 - ～菜園通りエリア～
 - ～映画館通りエリア～
 - ～内丸・中央通りエリア～
 - ～櫻山・大手先通りエリア～
 - ～本町通り・寺町エリア～
 - ～紺屋町・葺手町エリア～
 - ～中津川エリア～
 - ～肴町エリア～
 - ～八幡通りエリア～
 - ～下ノ橋町・清水町エリア～
 - ～鉤屋町エリア～

3. 盛岡市中心市街地の将来ビジョン

- (1) 盛岡市中心市街地全体の将来ビジョン
- (2) エリアごとの将来ビジョン
 - ～駅前通りエリア～
 - ～北上川エリア～
 - ～材木町エリア～
 - ～開運橋エリア～
 - ～大通商店街エリア～
 - ～菜園通りエリア～
 - ～映画館通りエリア～
 - ～内丸・中央通りエリア～
 - ～櫻山・大手先通りエリア～
 - ～本町通り・寺町エリア～
 - ～紺屋町・葺手町エリア～
 - ～中津川エリア～
 - ～肴町エリア～
 - ～八幡通りエリア～
 - ～下ノ橋町・清水町エリア～
 - ～鉤屋町エリア～

4. 今後に向けて

- (1) エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、当面の対応（案）
- (2) 実現化方策
- (3) 今後のスケジュール

(2) エリアごとの特徴と課題

～歩行者回遊・モビリティ～

■エリアの特徴

- ニューヨークタイムズ紙で2023年に「人混みを避けて歩いて回れる珠玉の街」と紹介され、街歩きが盛んである。

■エリアの課題

- ・行政・民間の取組の連携が不十分かつエリア間の回遊性が低い。
- ・材木町・鉾屋町など中心部から離れたエリアへのアクセスがしづらい。
- ・バス—he交通手段間の交通結節機能の強化
- ・盛岡駅—盛岡バスセンター間の基幹公共交通軸の形成

■行政の取組

【自動車】

- ### ①都心環状道路の設定（盛岡市「もりおか交通戦略」）

【公共交通】

- ③拠点間連絡バスの検討（盛岡市「もりおか交通戦略」）

【自轉車】

- ④盛岡市サイクルルートの設定
⑤自転車走行空間の拡充（盛岡市「もりおか交通戦略」）

【步行者回遊】

- ⑥ 歩行者利便増進道路（ほこみち）制度の指定
（「市道盛岡駅前通線」「県道盛岡停車場線」）
- ⑦ 「歩いて楽しむ中心市街地形成戦略」
（歩行者・自転車優先エリアの設定、通過交通の排除等）
（盛岡市「もりおか交通戦略」）
- ⑧ 菜園通りの道路空間再配分（盛岡市「もりおか交通戦略」）
- ⑨ 将来道路網計画の見直し（都市計画道路下ノ橋南大通線）
- ⑩ 都市計画道路下ノ橋南大通線の2車線対面通行化
- ⑪ 都市計画道路本町通天神町線及び
都市計画道路本町上田線の2車線拡幅整備
（道路整備プログラム、もりおか交通戦略（第二期））
- ⑫ 市道南大通2丁目南大橋線等の無電柱化、美装化及び
融雪設置等
- ⑬ 中央通り・大手先通りの再整備の検討
（「内丸プラン中間とりまとめ」）
- ⑭ まち歩きマップの作成

■民間の取組

【公共交通】

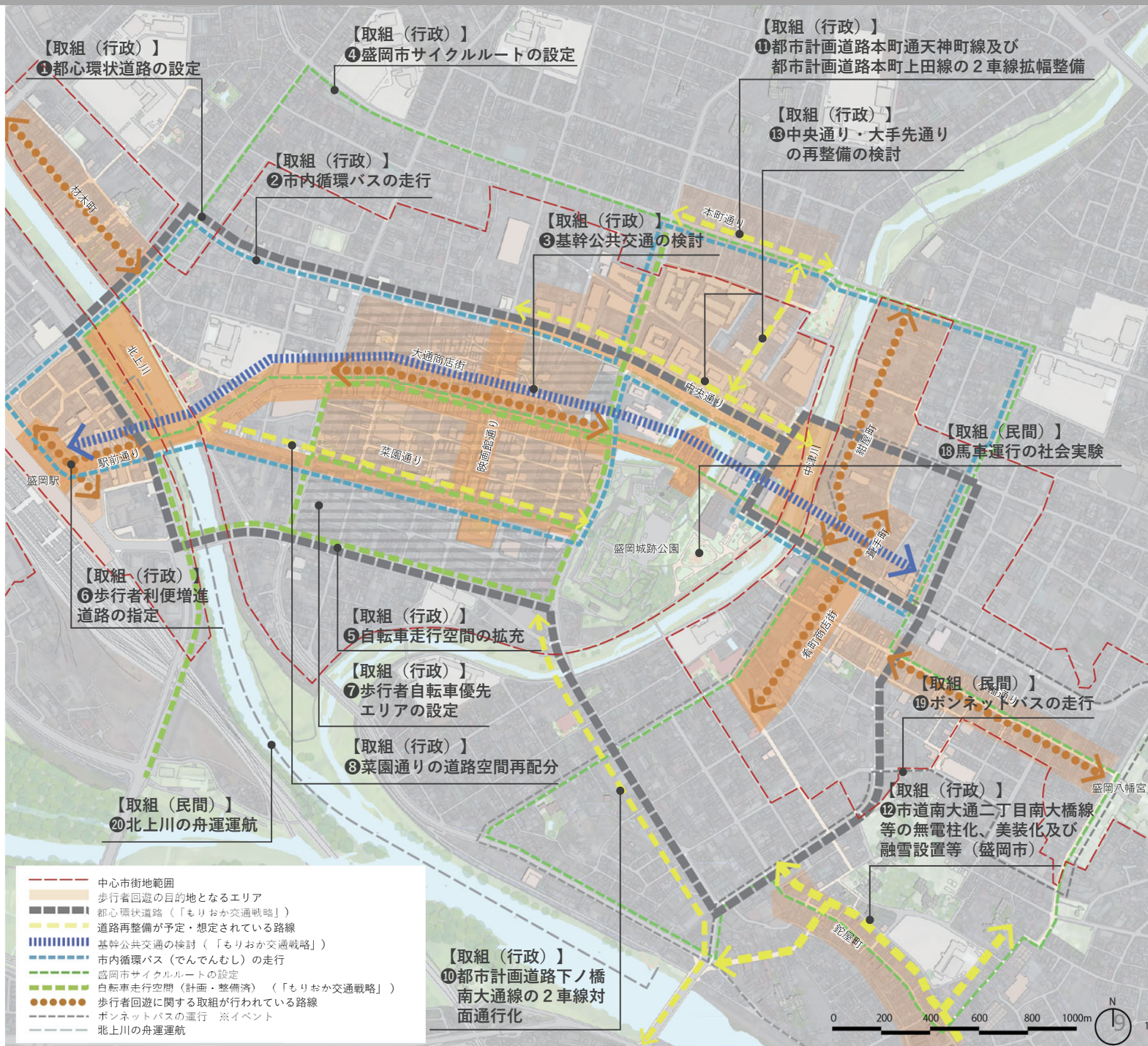
- ⑮LRTの導入に関する調査検討
(もりおか交通まちづくりLRTフォーラム)

【步行者回遊】

- ⑬回遊マップの作成（各エリア）

【その他のモビリティ】

- 18 馬車運行の社会実験（盛岡馬車みち会議）
19 ボンネットバスの走行 ※イベント時
（もりおか八幡界隈まちづくりの会）
20 北上川の舟運運航
（北上川に舟っこを運航する盛岡の会）



(2) エリアごとの将来ビジョン

～歩行者回遊・モビリティ～

■歩行者回遊・モビリティに関するまちづくり方針（案）

「もりおか交通戦略」（令和3年3月策定）に基づく道路空間再編や既存の回遊ルートと、「中心市街地デザイン戦略」で検討する16エリアにおけるまちづくりの取組を連携させることにより、個性あるエリア間のつながりを強化し、徒歩や公共交通、その他のモビリティを乗り換えながら楽しく巡れる中心市街地の形成を目指します。

①エリア間のつながり強化（提案）

- 既存の行政・民間の取組（ほこみち指定・歩行者天国等）を活かし、街路や公園・広場などの公共空間の再整備・活用や、回遊の目的地となる民間施設の整備を通して、個性ある各エリアのつながりを強化し、中心市街地全体の回遊性を創出することを目指します。

②自転車回遊ルートの拡充に向けた検討（提案）

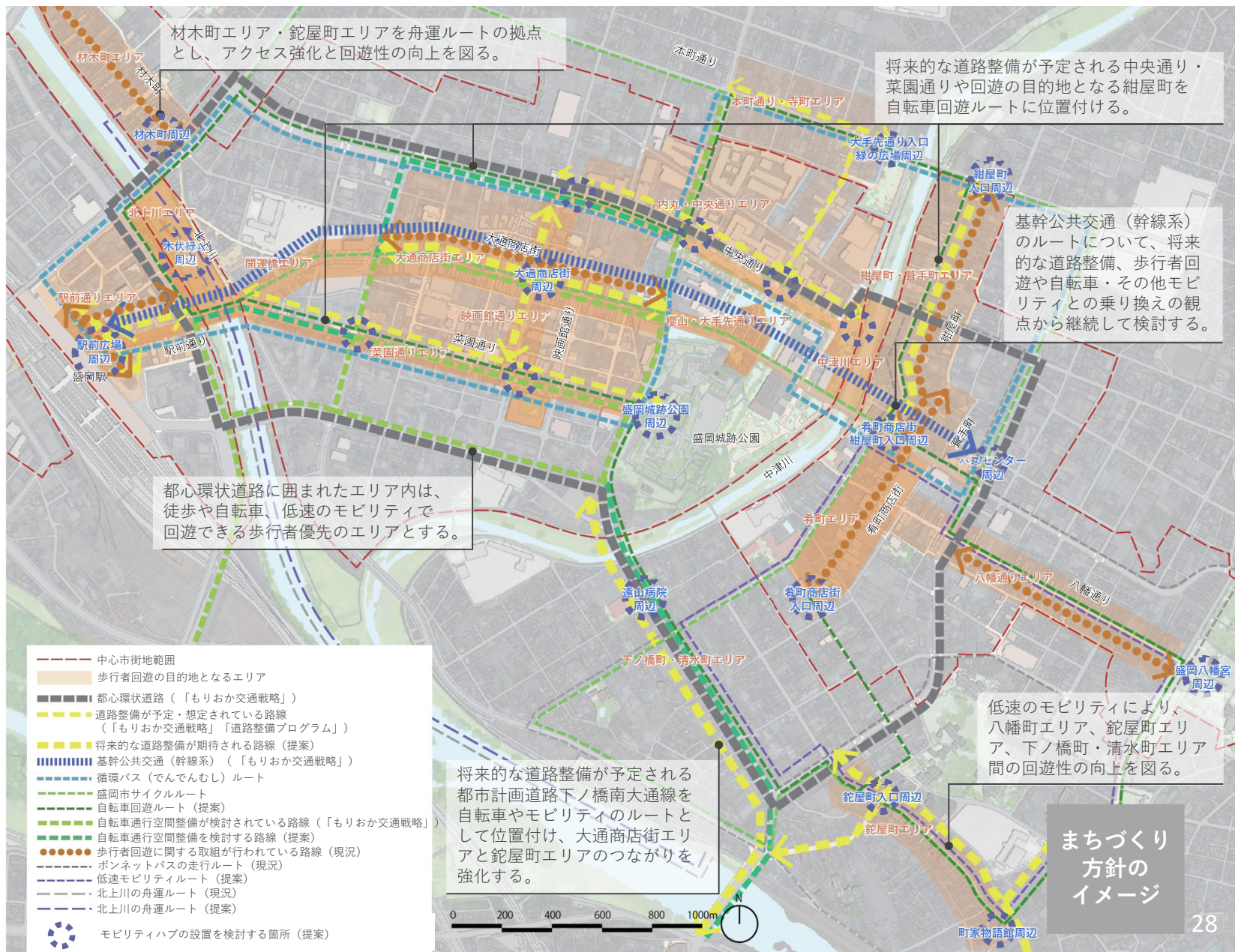
- 既存の自転車通行空間整備及びサイクルルートの設定を活かし、新たに道路整備が予定されている菜園通り（岩手公園開運橋線）及び、中央通り（県道盛岡横手線）の道路空間再配分等と連携して、まちづくりが進む各エリアを結ぶ自転車回遊ルートの形成を目指します。

③周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）

- 既存のイベント時の取組を活かし、馬車やボンネットバスなど個性的なモビリティの運行を検討し、中心市街地外縁部にあたるエリア（材木町エリア、本町通り・寺町エリア、鉈屋町エリア）へのアクセスの強化を検討します。

④モビリティハブの形成に向けた分析・協議（提案）

- 道路整備や公園再整備、民間施設の再編を機に各モビリティの乗り換え地点となるモビリティハブの整備を検討し、中心市街地の各エリア間の回遊性の向上に寄与します。



■エリアの特徴

- 紺屋町の通り沿いに、岩手銀行赤レンガ館やござ九、盛岡信用金庫本店や紺屋町番屋等、歴史的建造物が立ち並んでいる。
- 市外からの移住者による古着屋やセレクトショップ等の店舗が増えている。
(ミナ ペルホネン等)

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- マンション開発や駐車場整備によりエリアの街並みが変化しており、一部の住民は、マンション建設に対して不安を抱いている。

■行政の取組

- ①紺屋町番屋のリニューアルオープン（盛岡市）
- ②紺屋町のコミュニティ道路整備・無電柱化（盛岡市「盛岡BC周辺地区公民連携まちづくり勉強会」における候補事業）

■民間の取組

- ③紺屋町かいわいスタンプラリー（紺屋町かいわい街並み協議会）
- ④葺手町こみち、葺手町市（葺手町商店会）
 - 道路占用に関するコロナ特例を活用した道路空間の活用
- ⑤岩手銀行赤レンガ館における各種イベント開催
- ⑥川とまちをつなぐ建物の整備

エリアの特徴



岩手銀行赤レンガ館

エリアの特徴



ござ九

取組（行政）①



紺屋町番屋

取組（民間）⑥



中津川沿いのテラス



※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。

【取組（民間）】

⑥川とまちをつなぐ建物の整備

【取組（行政）】

②紺屋町のコミュニティ道路整備・無電柱化（候補事業）

【取組（行政）】

①紺屋町番屋のリニューアルオープン

【取組（民間）】

④葺手町こみち、葺手町市の開催

【取組（民間）】

⑤岩手銀行赤レンガ館における各種イベント開催

← → : 課題

← → : 行政の取組

← → : 民間の取組

■紺屋町・葺手町エリアのまちづくり方針（案）

旧街道沿いに歴史的な建造物や質の高い商業施設が点在し、街並みの景観保全や活用の議論が活発なエリアです。街並みの保全に関するルールづくりや、地域資源をつなぐ歩きやすい街路整備を通して、周辺エリアと連携してまち歩きを楽しめる個性豊かなエリア形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①紺屋町の街並み等のガイドライン作成の検討（提案）

- ・ 建て替えや再開発・駐車場整備時等に街並みの景観保全や活用を記した**街並み等のガイドライン**や**地区計画**の作成を検討し、歴史的建造物や既存の街並みに調和する形態・用途の誘導とその活用を目指します。

②紺屋町の歩車共存道路整備と街路空間利活用の検討（提案）

- ・ 紺屋町の歩車共存道路への転換に向けた社会実験などを通して、交通分析や活用可能性を検討し、**道路空間再編**による、車両速度を抑制した歩きやすい街路の形成を目指します。
- ・ 葺手町こみちの取組を展開し、紺屋町・葺手町における沿道施設と一体の**街路空間利活用**の面的な展開を検討します。
- ・ 紺屋町番屋周辺にポケットパークやモビリティポートを整備し、回遊拠点の形成を検討します。
- ・ 旧井弥商店周辺の再整備や民間開発と合わせて、紺屋町のエントランスの形成を検討します。

例）欧州アンチック市や工芸品や雑貨のポップアップショップとしてオープンスペースを活用

③中津川とのつながり強化と歴史資源の活用の検討（提案）

- ・ 敷地内を通り抜けて紺屋町と中津川を行き来できる建物形態の誘導を検討します。
- ・ 紺屋町と葺手町をつなぐ路地の整備を検討し、歩行者の回遊促進を目指します。
- ・ 歴史的建造物・レトロな建物を活かし歴史のある建造物の活用・周知を推進することを検討します。

例）歴史的建造物の公開・周知イベントの開催により、市内外にまちづくりを発信することができます。

参考事例）歩車道一体の街路整備
本町通り（竹原市）



参考事例）川に向けたテラス
minä perhonen koota joki（盛岡市）



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



「盛岡市中心市街地デザイン戦略」に込めた思い

見た目だけではない「デザイン」の本当の意味

「デザイン」の語源には、考えや計画を表現して目に見えるようにするという意味があります。「デザイン戦略」の「デザイン」には、よく使われる、ただ見た目をカッコよくするという意味ではなく、「皆さんと考えたり、計画したりする、まちの未来の姿を、目に見えるかたちで表していく」という意味が込められています。目に見えるかたちで表現することで、より多くの人たちが興味を持ち、共感し、参加し、ともに作りあげていく計画になっていくと考えています。

「デザイン戦略」は、まちづくりを進める目的と手段に応じ、時にアイデア集成として、参考資料として、ベース図として、紐解かれるものになると想定しています。また、まちの人の声を集めて定期的に更新することを想定しています。



「盛岡市中心市街地デザイン戦略」に込めた思い

「戦略」の対義語は「無策」

「戦略」の対義語は、「無策」です。課題が多い今の時代に無策では、描いた理想的な姿を実現することはできません。限られた時間や資源を効果的につかって、理想の未来を実現するために今やるべきことを考え抜き、協力し合って実行する必要があります。そのような、未来への意志としてのまちづくりを進めていきたいという思いから「戦略」という言葉をつかっています。

まちづくりというバトンを次世代へつなぐには、今を生きる私たちがまず未来の盛岡を想像してワクワクすることが大事です。盛岡の魅力や人々の活動をつなぎ合わせて描いた未来を実現していくために、参加するみなさんが楽しみながら知恵を出し合って、まちづくりを進めていくことが大事です。



なぜ今「中心市街地デザイン戦略」が求められるのか

1人1人が盛岡の将来ビジョンを考え、行動するまちへ

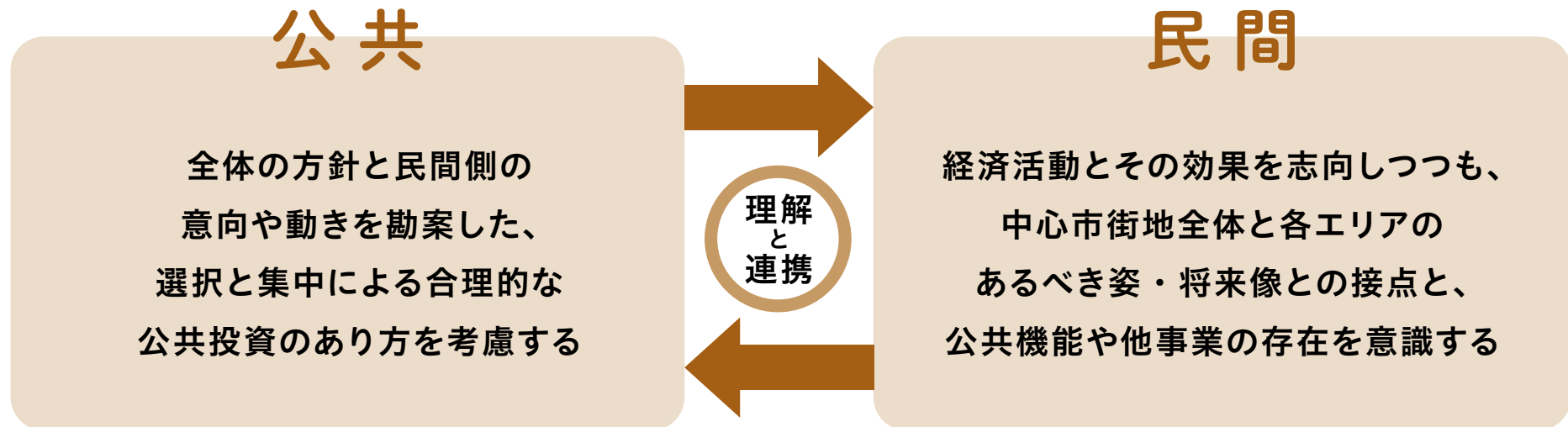
盛岡は、まちづくりのために自ら行動をおこせる人がとても多く住んでいるまちです。

これは盛岡の一番の宝だと思います。まちの未来を考えるのは市役所だけの仕事ではありません。まちづくりが難しい時代だからこそ、盛岡が大好きなみなさん一人一人が盛岡の未来について考え、行動していくことが大事なのではないのでしょうか。「デザイン戦略」はそのためにつくられたものです。



「中心市街地デザイン戦略」の使い方

このような状況を踏まえ、長期的な展望を持って都市を再編し、次代にふさわしいまちづくりを進めるためには、公共側においては「全体の方針と民間側の意向や動きを勘案した、選択と集中による合理的な公共投資のあり方」を、民間側は「経済活動とその効果を志向しつつも、中心市街地全体と各エリアのあるべき姿・将来像との接点と、公共機能や他事業の存在」を十分に考慮することが求められます。その上で、お互いの性質の違いを理解するとともに、整合性のあるまちづくりを進めるための方策が必要となります。こうした認識のもと、行政と民間とが連携し、まちづくりの将来像と実現のための方策を示すため、デザイン戦略を策定します。



「デザイン戦略」ってなんの役に立つの？

【効果の例 A】 例えば「外部開発事業者」が見ると？

生活をする市民の思いとの間に起きる、開発時のズレを回避し、齟齬を減らします。

「デザイン戦略」が

ないと…？

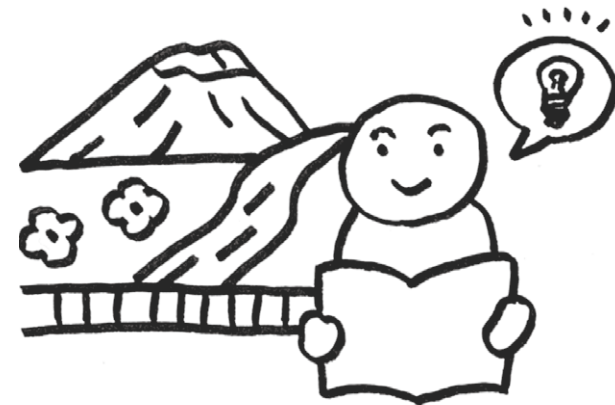
このエリアのことはあまりわからないがまずは進めないといけないから、今までの別の街と同じやり方で進めてみよう。



「デザイン戦略」が

あると…？

このエリアのこの風景は市民から愛されているらしい。では活かす形で計画を考えてみよう！



「デザイン戦略」ってなんの役に立つの？

【効果の例 B】 例えば「市役所職員」や「市民」が見ると？

短時間で各エリアを深く知ることができ、効率よくリサーチが可能。
事業計画やプロジェクトの計画にズレが発生しづらい効果を発揮します。

「デザイン戦略」が

ないと…？

憶測だけど、なんとなくだけこのエリアはこうな
んじゃないかな、、、と思って計画したがうまく行か
なかった。



「デザイン戦略」が

あると…？

時間がなかったけれど、このエリアの人の動きや課題感が特
定されていたから、官民、民間同士の連携が生まれ、限られ
た予算の中で地域が求める事業計画を立てることができた！



「デザイン戦略」ってなんの役に立つの？

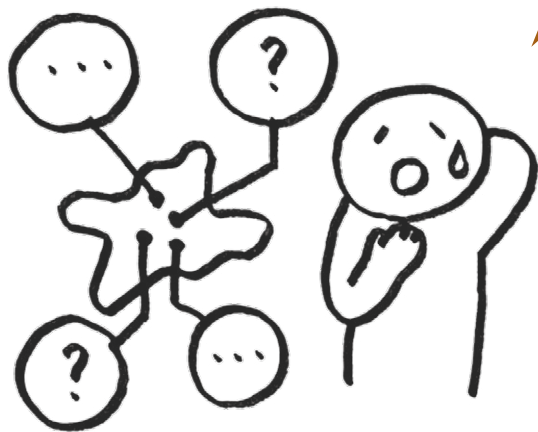
【効果の例 C】 例えば「学生」や「大学等の研究組織」や「起業家」などが見ると？

盛岡のまちづくりに参加したい人たちと一緒にやりたい「エリア」や「人」とのマッチングを促すことができます。

「デザイン戦略」が

ないと…？

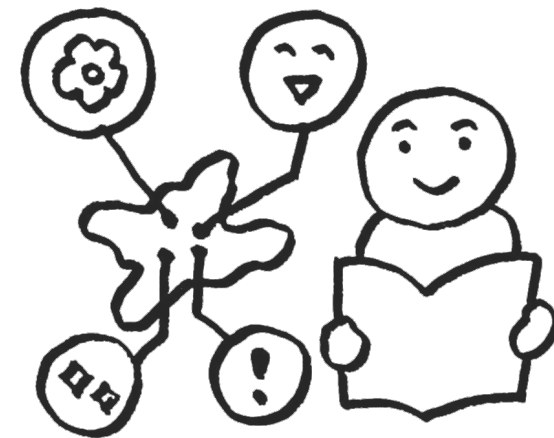
2日間のフィールドワークを行なったけれど回りきれなかった、、、まちづくりに取り組む人たちともっと話したかったな、、、



「デザイン戦略」が

あると…？

自分の考えていることと同じことをアクションしているエリアが盛岡にあったなんて！ぜひ話を聞きにいきましょう！



策定の流れ・スケジュール

